

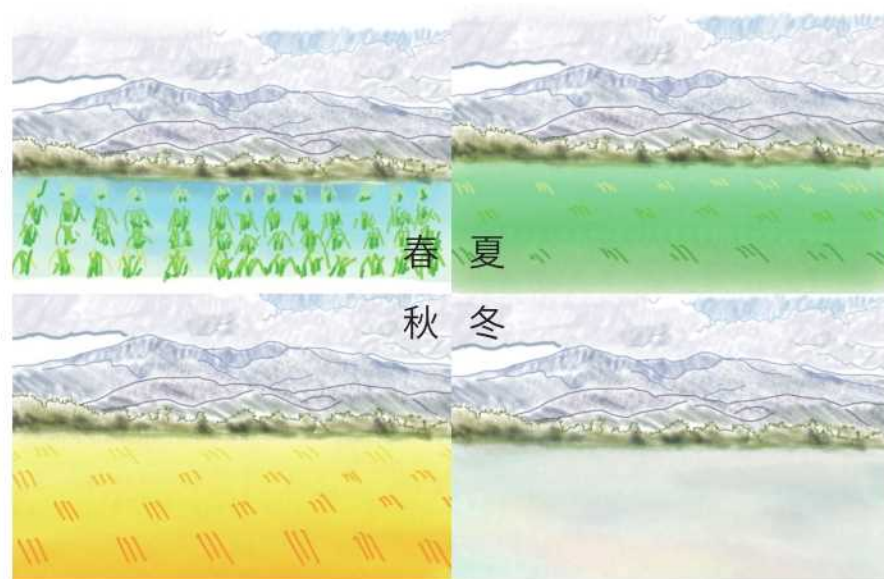
田園てらす

田園地帯に残る空き家が、四季折々の表情をみせる田畑と人々の多種多様な生き方を結ぶ



I 敷地 秋田県男鹿市

男鹿市は3方を海に囲まれ、自然豊かな土地が広がる。そのことから国定公園の指定を受けている。敷地周辺は幕末の時期に開墾され耕地整理された広大な田園地帯が現在まで残っている。春は田植えの水田風景、夏はどんどん稲が成長し、秋は稲穂が光輝き辺り一面に黄金の絨毯が敷かれる。そして冬は雪に覆われ広大な雪原となる。田んぼは四季折々の表情を魅せ、田んぼと共生する人々の営みも自然とともに刻々と変化していく。

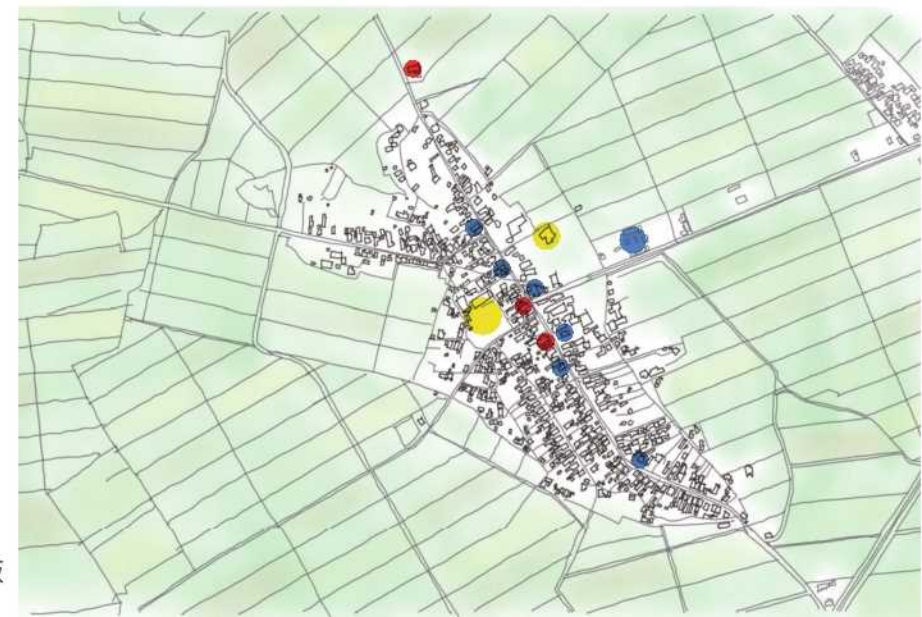


II 街としての課題

田畑を開墾してきた町には住宅以外の用途が少なく多様性に欠ける。また、ソトの人を受け入れる施設やイベント、体験やサービスなどの仕組みが不足している。そのため外部の人が訪れにくくなっている。

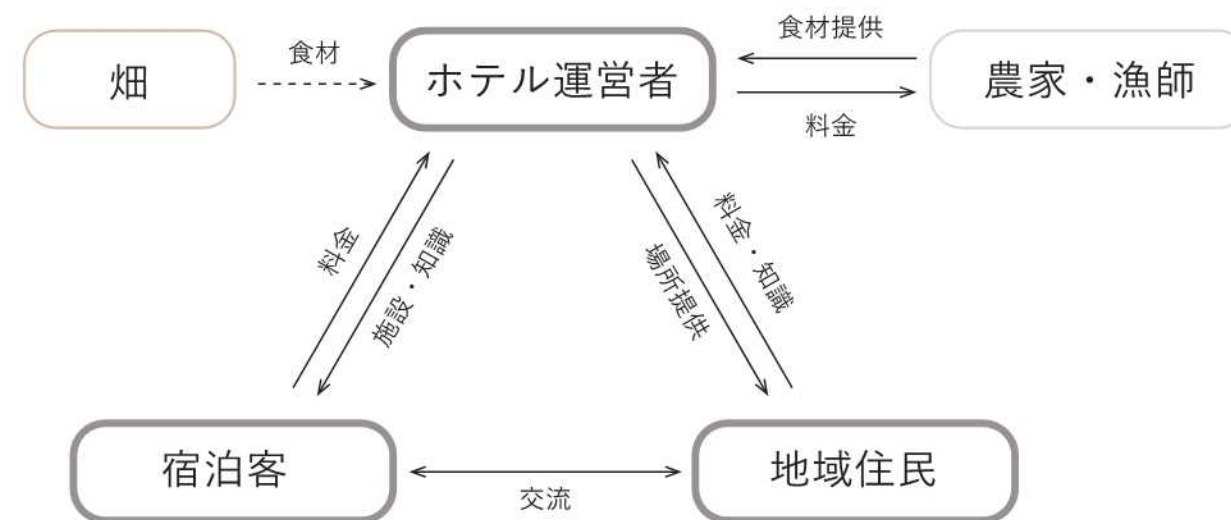
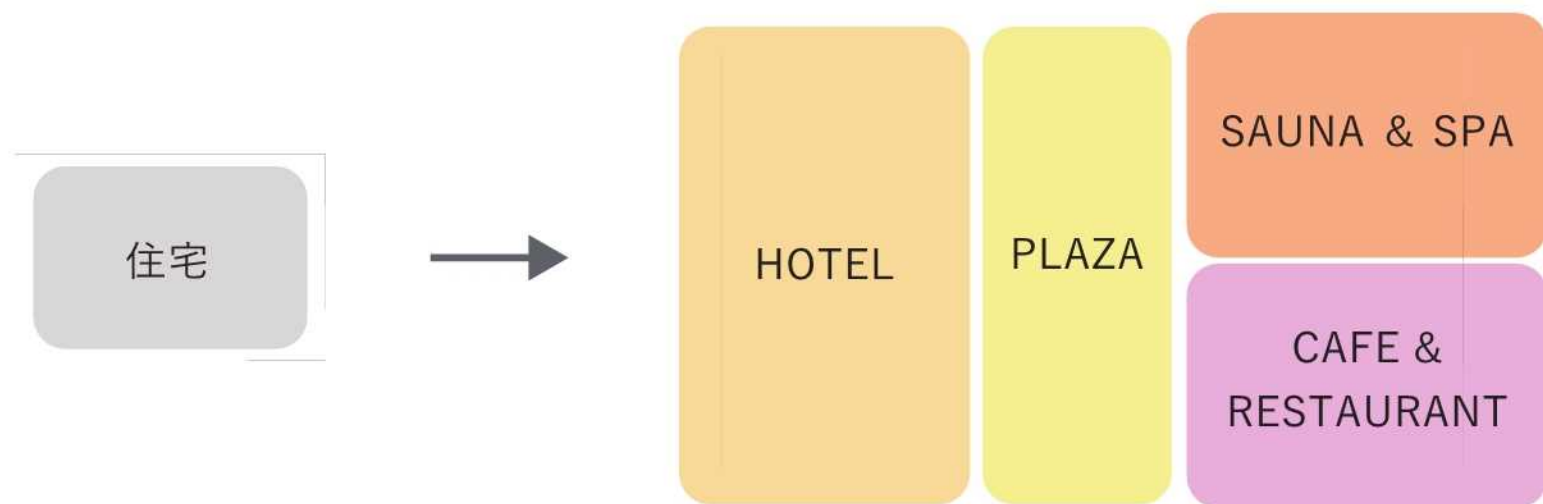
凡例

住宅 飲食 学校 物販



III リノベーション - 用途を解体し、街に開く -

ソトの人、その地域で暮らす人、それぞれが利用できる複数の用途を空き家に挿入する。
ソトの人にとっては男鹿市を知るきっかけになり、地域の人にとっては新たな交流の場となる。



貸別荘的ホテル

その土地で暮らすように泊まりたい人向けに年間 30 日単位で販売

【想定利用者】
二拠点生活者、外国人、都会に住む小さい子供を持つ家族、元地元民 ...etc

【利用理由】
週末だけでも自然豊かな場所の暮らしを良さを子供に体験してもらいたい
日本の農業や田舎暮らしを体験してみたい
地元に戻った時に友と朝まで語れる場が欲しい

短期～長期滞在者向けホテル

ワーケーションや観光客へ短期から長期宿泊利用に対応

【想定利用者】
リモートワーカー、小説家、アーティスト、旅行者（観光客）...etc

【利用理由】
田園風景が広がる静かなところで集中して仕事や制作に取り組みたい
男鹿市観光での宿泊先として利用したい
知り合いの実家に遊びに来たついでに泊まりたい

サウナ&スパ

宿泊者の入浴施設兼地域の新たな娯楽施設として運用

【想定利用者】
地域住民、宿泊者、サウナ好き ... etc

【利用理由】
厳しい冬の時期に身体の芯から、温まりたい
農業で疲れた身体を癒したい

カフェ&レストラン

敷地内の畑や地元でとれた食材を提供

【想定利用者】
地域住民、宿泊者、観光客 ...etc

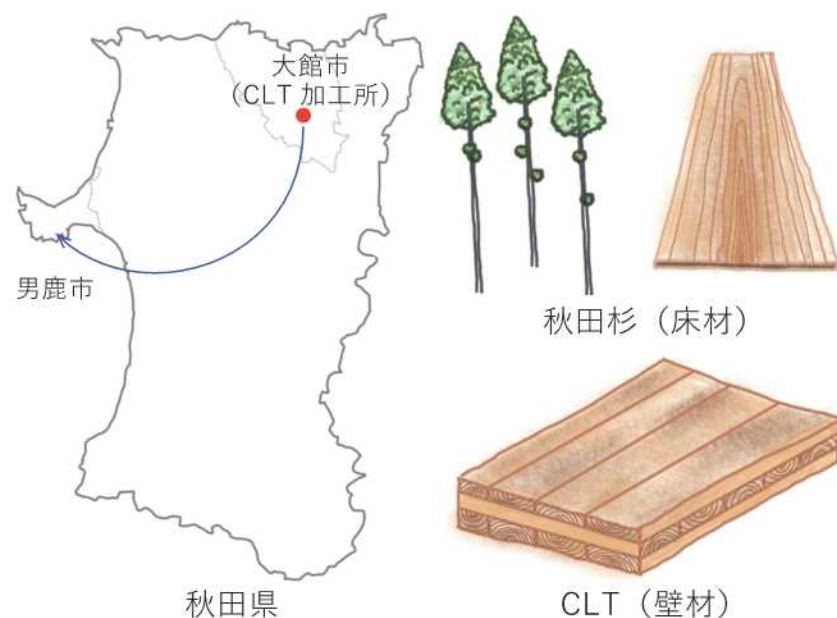
【利用理由】
育てた / 採れたての食材を旬の時期に食べたい
農作業の休憩時間に利用したい
友達とお茶する場所が欲しい

IV 建築素材

脱炭素、持続可能な建築を目指し積極的に国産木材を活用する。

【CLT (壁)】
木造住宅に必要な壁量として使用すること。同県の大館市にある CLT 加工所から搬入するため、運送時の二酸化炭素排出量の削減につながる。

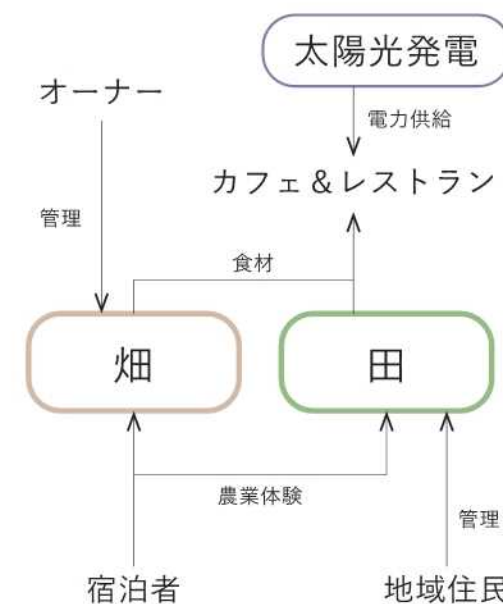
【秋田杉 (床：テラス)】
地域の素材を活用し、地域資源と地域経済の持続可能な好循環に貢献する。



V 自然資源

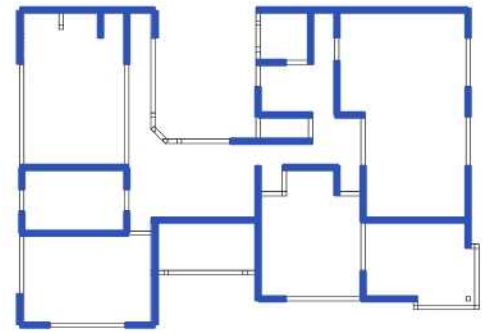
【食】地域の食材が旬の時期に採れたてを頂く。オーナーが畑を管理し、カフェ&レストランで季節ごとのメニューとしてお客に提供する。また、ホテル宿泊客は畑や近隣の田んぼにて、野菜狩りや田植えなどの農業体験をすることができる。

【エネルギー】屋根に太陽光発電を設置する。北側にメンテナンス兼雪下ろし用の階段を設け維持管理のし易さに配慮する。

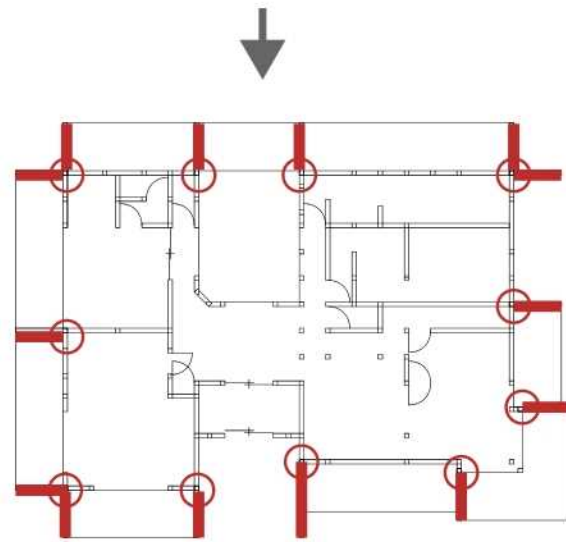


VI 構造ダイアグラム

水平力を新設 CLT 壁に担保させ内部空間を解放する



【既存平面図】 既存必要壁量

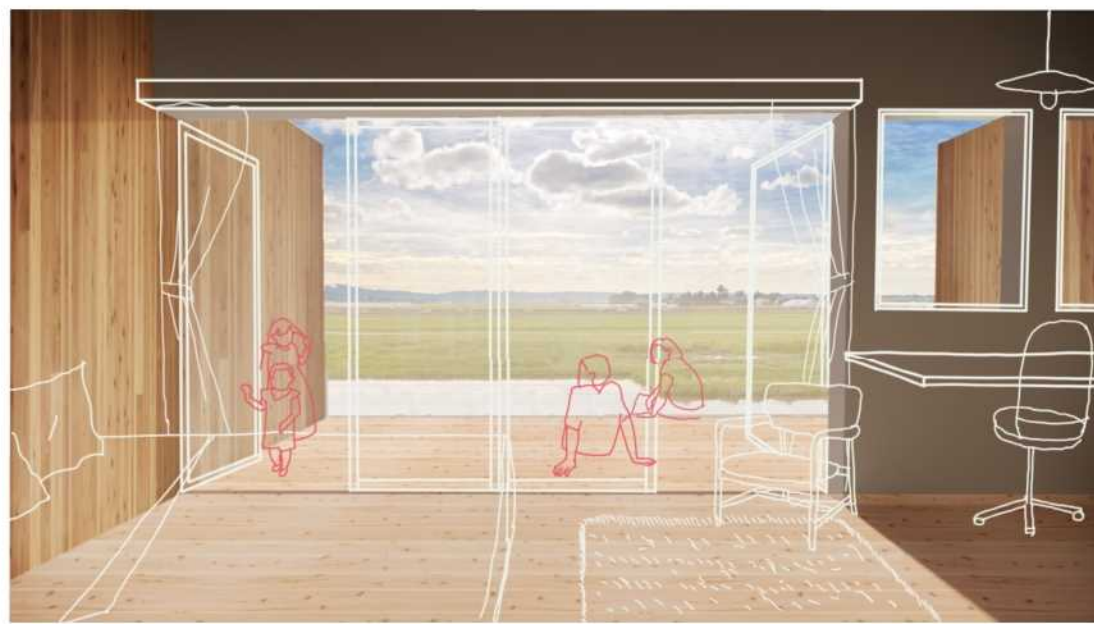


【提案平面図】 CLT 壁 補強箇所

在来軸組工法では水平方向の外力に耐えるため、内部に一定の壁量が必要となる。

ここでは CLT を壁面に利用し、水平力を負担させる。そして既存建物との接合部に補強を施し応力の集中を避けスムーズに力を全体に伝える。

CLT 壁を外部に出すことで内部に必要な壁量を減らすことができ、内部は用途に応じて広く、見通しの良い空間を確保できる。また、外壁周りには開口部を自由に設けることができる。

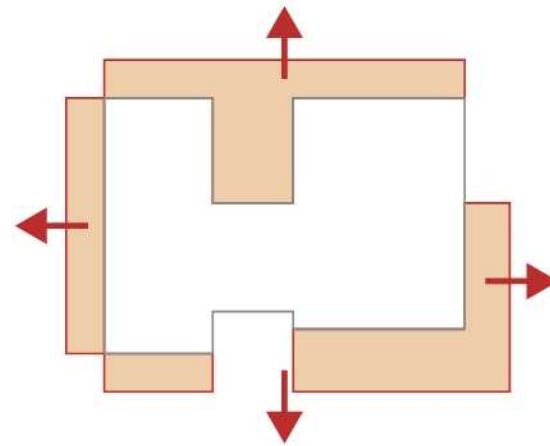


客室1より畑を望む

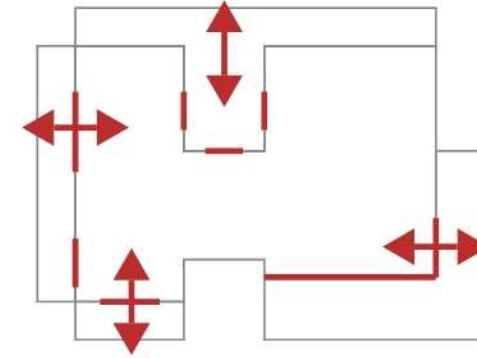
開口部は掃き出し窓とし、床・壁材を室内外で同様の素材を使うことで内部空間は外への広がりを感じられる
融雪機能付きのバルコニー、プライバシーを守る擁壁によって快適な空間となる

VII 平面ダイアグラム

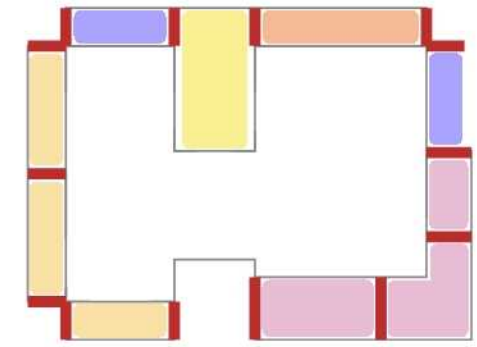
室外と室内の間にバッファゾーンを設けることで、大地の匂いや凜とした空気など周辺環境・自然をダイレクトに感じることができる



融雪機能を持つテラスを四方に伸ばす

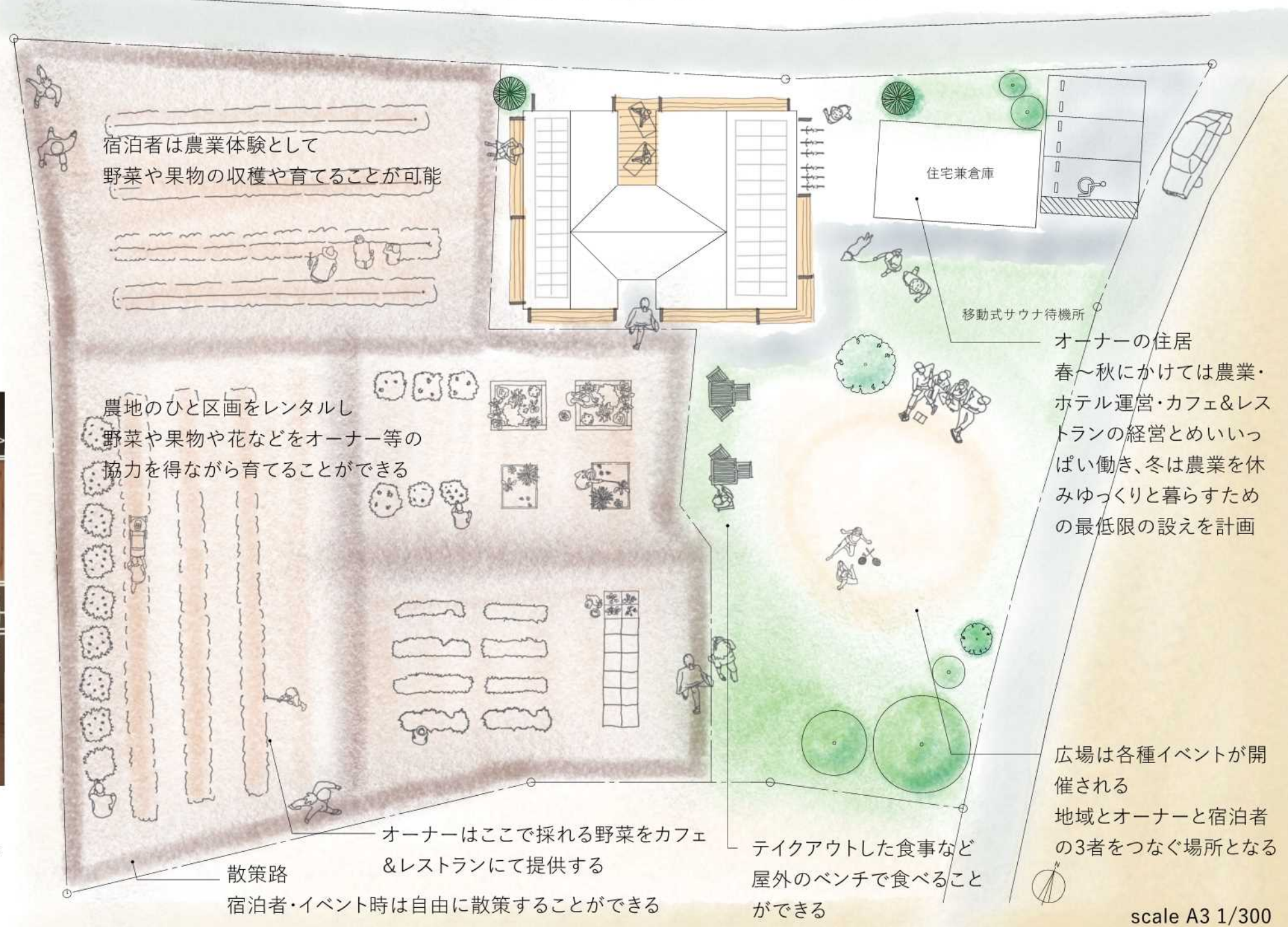


テラスへの開口部を設け、それぞれの部屋からテラス(バッファゾーン)へアクセスが可能になる

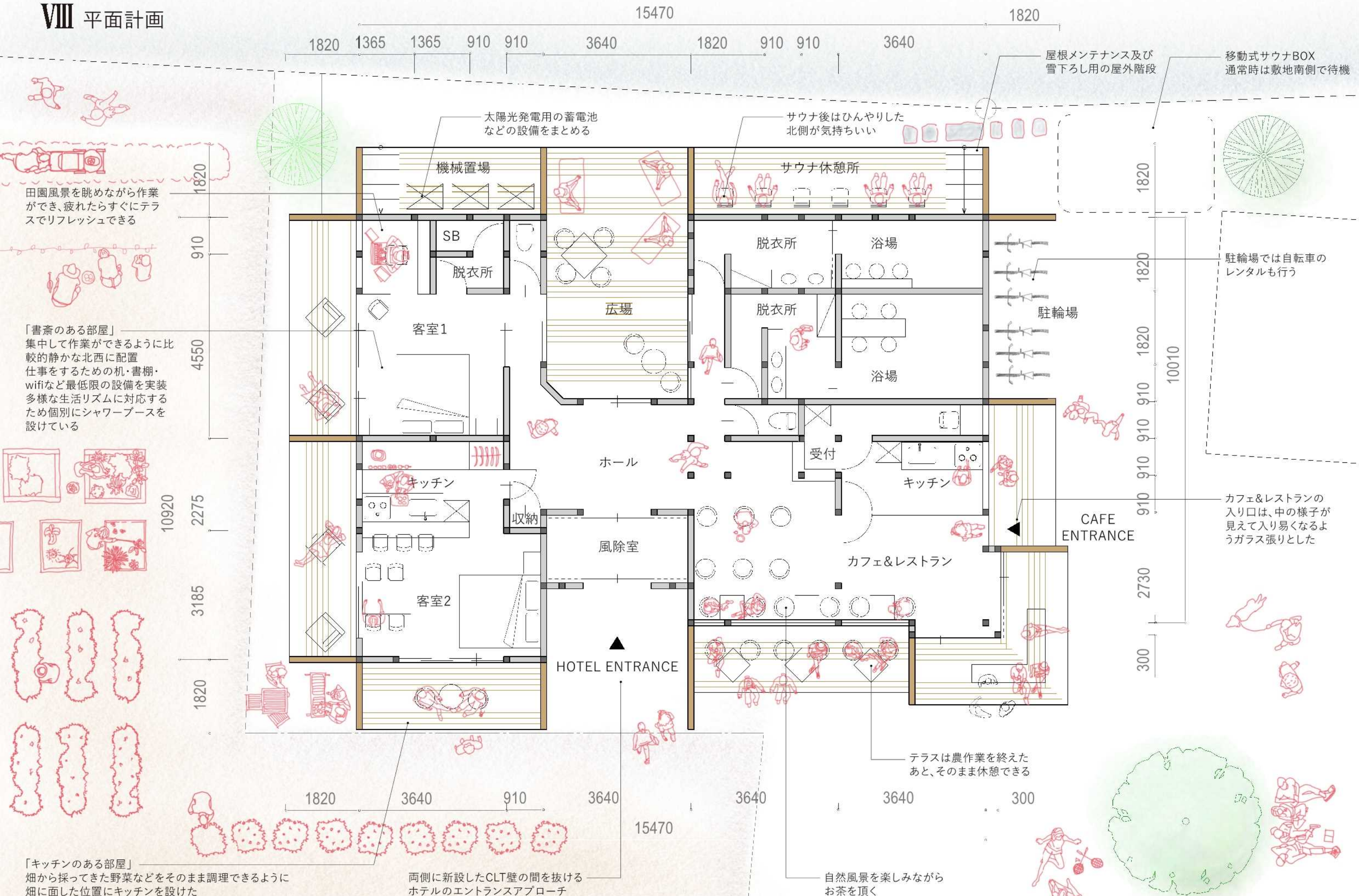


凡例.
CLT 壁
ホテル
カフェ
サウナ
広場
BOH

外部に飛び出た CLT 壁によりテラスはそれぞれの部屋用途ごとにゆるく仕切られる



VIII 平面計画



田園風景を眺めながら作業ができ、疲れたらすぐにテラスでリフレッシュできる

「書斎のある部屋」
集中して作業ができるように比較的静かな北西に配置
仕事をするための机・書棚・wifiなど最低限の設備を実装
多様な生活リズムに対応するため個別にシャワーブースを設けている

「キッチンのある部屋」
畑から採ってきた野菜などをそのまま調理できるように畑に面した位置にキッチンを設けた
また、エントランスに面する南西角に部屋を配置し、地域の方と交流を誘発する

両側に新設したCLT壁の間を抜けるホテルのエントランスアプローチ

自然風景を楽しみながらお茶を頂く

移動式サウナBOX
通常時は敷地南側で待機

駐輪場では自転車のレンタルも行う

カフェ&レストランの入り口は、中の様子が見えて入り易くなるようガラス張りとした

テラスは農作業を終えたあと、そのまま休憩できる